

## 2026年度 09)加速器質量分析装置等利用(共同利用) 採択一覧

11 件

\*所属機関・職名は、原則、申請書のとおり掲載しています。

\*In principle, proposer's affiliation and job title in this list are based on the application.

研究代表者 Principal Investigator	所属機関* Affiliation	職名* Job title	所内担当教員 Corresponding ISEE researcher	研究課題名 Project title
岸田 拓士	日本大学	教授	北川 浩之	先史時代の動物相の遺伝的多様性の解明のための年代測定
高橋 浩	産業技術総合研究所	主任研究員	南 雅代	水試料の放射性炭素濃度測定における生物活動の影響除去に関する新手法の最適化
山田 隆二	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	上席研究員	北川 浩之	高精度年代測定から編む山体崩壊の発達史
勝田 長貴	岐阜大学	教授	南 雅代	湖沼堆積物を用いた最終氷期以降の東アジア古環境復元
谷水 雅治	関西学院大学	教授	南 雅代	海藻資料を用いた北海道周辺海域 <sup>14</sup> C量の分布と変遷の把握
長谷川 正	名古屋大学	教授	南 雅代	携帯武具等の年代測定による日本中世史の研究
池盛 文数	長崎大学	准教授	南 雅代	<sup>14</sup> Cを用いた大気エアロゾル中元素状炭素の発生起源解析
櫻井 義之	豊川歴史の会	会長	南 雅代	豊川金沢地区出土スラグと旗頭山岩石の比較調査(化学分析と年代測定)
植村 立	名古屋大学	准教授	南 雅代	鍾乳石および上部植生の炭素循環把握を目指した放射性炭素年代測定の検討
奥野 充	大阪公立大学	教授	南 雅代	火山噴火史を高精度化する年代学的研究
奥野 充	大阪公立大学	教授	南 雅代	千枚岳の駒鳥池からみた南アルプスの環境変遷史